

「6年生と溢れるくらいまで 思い出をつくりたいです」

～6年生を送る会とお別れ遠足～

3月6日（金）、6年生を送る会とお別れ遠足を実施しました。この日は、午前中は曇り、11時過ぎから雨天の予報であったことから、当初の日程を変更し、はじめにるパークでお別れ遠足をした後、学校に戻り、昼食・6年生を送る会を行いました。

バスに揺られ、るるパークに到着。目の前には、さまざまな種類の滑り台やロープのつり橋、あみあみトンネルなど、いろいろな遊具が集合した“レイクサイドキャッスル”という名の大きな遊具があります。担当教員の注意事項を聞いた後、子どもたちは一目散に遊具に向かい、登ったり、下りたり、渡ったり、滑ったりして、この遊具の楽しさを感じる存分楽しんでいました。

また、この遊具の周りで“増えおに”という追いかけっこを楽しんでいる子どもたちもたくさんいます。1年生から6年生まで学年関係なく、和気あいあいに楽しみました。心配していた天気も、このときばかりは、子どもたちの和やかな様子をじゃますることなく、応援していたようです。



帰校し、体育館で昼食をとりました。そして、いよいよ6年生を送る会です。6年生からバトンを受けた3～5年生で組織する新運営委員会の子もたちが、会の進行を務めます。会の冒頭、「6年生とたくさん思い出をつくりましょう」と、全校に呼びかけ、会がスタートしました。

最初のゲームは、“6年生〇×クイズ”です。「〇〇さんの好きなスポーツは、サッカーである。〇か×か？」というような6年生一人一人にまつわるクイズが出され、該当の6年生が正解を答えます。先生たちも一緒に参加し、子どもたちと一緒に考えます。答えに悩む問題が多く、正解すると喜びも一入。終わりの会の感想発表で、「6年生と今までいっぱい遊んできたけど、まだ知らないことがあって、今日は6年生のことを知れてうれしかったです」とお話しした子もいました。

続いてのゲームは、“関所じゃんけん”です。フロアに学級每一列に並び、そこに先生たちの列も加わって、合計5列の関所を作ります。その5列の関所役に連続してじゃんけんに勝てば、ゴールにたどり着くというものです。

まずは、1年生がチャレンジ。5回連続してじゃんけんに勝つのは簡単ではありませんが、それでもゴールにたどり着く子どもがでてきました。1年生は、3分間で2名ゴールにたどり着けました。続いて、2・3年生、4年生、5年生とそれぞれチャレンジ。

6年生のチャレンジの番になりました。下級生たちが待ち構えています。スタートしました。じゃんけんに負けてしまえば、また初めからやり直しです。しばらくすると、ゴールにたどり着く6年生。なんと5人中4人がゴールしました。あと一人・・・。途中まで勝ち進めていたものの、残念ながらタイムオーバー、終了です。ところが、5年生から「最後までやろう！」と声がかかります。6年生全員にゴールをしてもらいたいという思いからの発言です。その声を受け、続けてじゃんけんをし、ゴールにたどり着いた6年生。下級生みんな喜び合います。卒業していく6年生と悔いのない楽しい思い出をつくらうとの子もたちのやさしさが光った時間でもありました。

6年生を送る会も終わりに近づきました。なんと、6年生が下級生に手づくりメッセージカードをプレゼントしてくれました。

〇〇さんへ
〇〇さんは、いつもいろんなことにちょうせんしていて、とてもすばらしいです。
ひるやすみのとき、いっしょにサッカーをしてくれてありがとう。これからもサッカーをがんばってね。☆☆よい

これは、下級生に渡したメッセージのひとつです。このように6年生は、下級生一人一人にあてて、メッセージを書いています。下級生の頑張りをみつめ、見守ってきた証が見て取れます。カードをもらった下級生たちは、さぞかしうれしかったことでしょう。



会の終わりの感想発表で、一人の子が、「6年生と溢れるくらいまで思い出をつくりたいです」と、語っていました。6年生に対する素直で精いっぱいな思いがにじみ出ています。

6年生と関われる残り僅かな時間の一瞬一瞬を大事にし、過ごしてほしいと願うばかりです。

読み聞かせをありがとうございました

今年度も、毎月第1月曜日に、地域の読み聞かせグループの皆さんが、子どもたちのために、読み聞かせに来てくださいました。

今年度最後となる3月2日（月）、子どもたちが1年間のお礼にと、お世話をしてきたパンジーの花をお渡ししました。

読み聞かせの後、私か図書室で話を伺うと、「子どもたちが集中してお話を聞いてくれました」と、笑顔で感想を語ってくださいました。1年間、大変ありがとうございました。

